

プロジェクト名

中小企業ものづくり連携体による医療機器等々の開発・販路開拓

事業の背景（地域・産業の特性、市場が抱える課題・ニーズ等）

- 九州地域は我が国の中でも人口減少・高齢化が進展する「課題先進地域」であり、これらの諸問題を解決する「ヘルスケア産業」の潜在的ニーズが高い。また、飯塚地域では医療関連産業の従事者の割合が多く、医療サービスの質向上を図るため、医療現場からのニーズは多く存在する。
- 飯塚市は、産炭地として栄えた時期に炭鉱労働者向けに医療機関が整備されていたこと等を背景に、充実した医療機関が立地している。こうした地域環境に触発され、医療現場の課題解決や大学の技術シーズの実用化、地域企業の医療機器分野への新規参入への期待が高まっている。

事業の狙い（製品／市場・用途、提供する価値、新規性・優位性等）

- 上記ニーズとシーズのマッチングや人材育成等図るため、飯塚市、飯塚病院、九州工業大学及び飯塚研究開発機構は、4者による「工医学連携の協力推進に関する協定」を平成26年5月に締結している。
- 製品：内視鏡関連器具(治具)(九州大学先端医療イノベーションセンターシーズ) 医療現場からのニーズ器具(治具)
- 提供する価値：九大・教授(内視鏡外科)によるビジネスモデルの提供 飯塚病院の臨床工学技士を中心とした病院内ニーズの提供

連携・グループ化の目的・期待効果

From（技術、製品、仕組み、販路等）

- 技術：内視鏡関連器具(治具)に関しては、現状個々の企業で活動。
- 製品：内視鏡関連器具(治具)は、各社試作段階。
- 仕組み：内視鏡関連コンソーシアム企業は数社あるが、コンソーシアム横連携は無い。

To（技術、製品、仕組み、販路等）

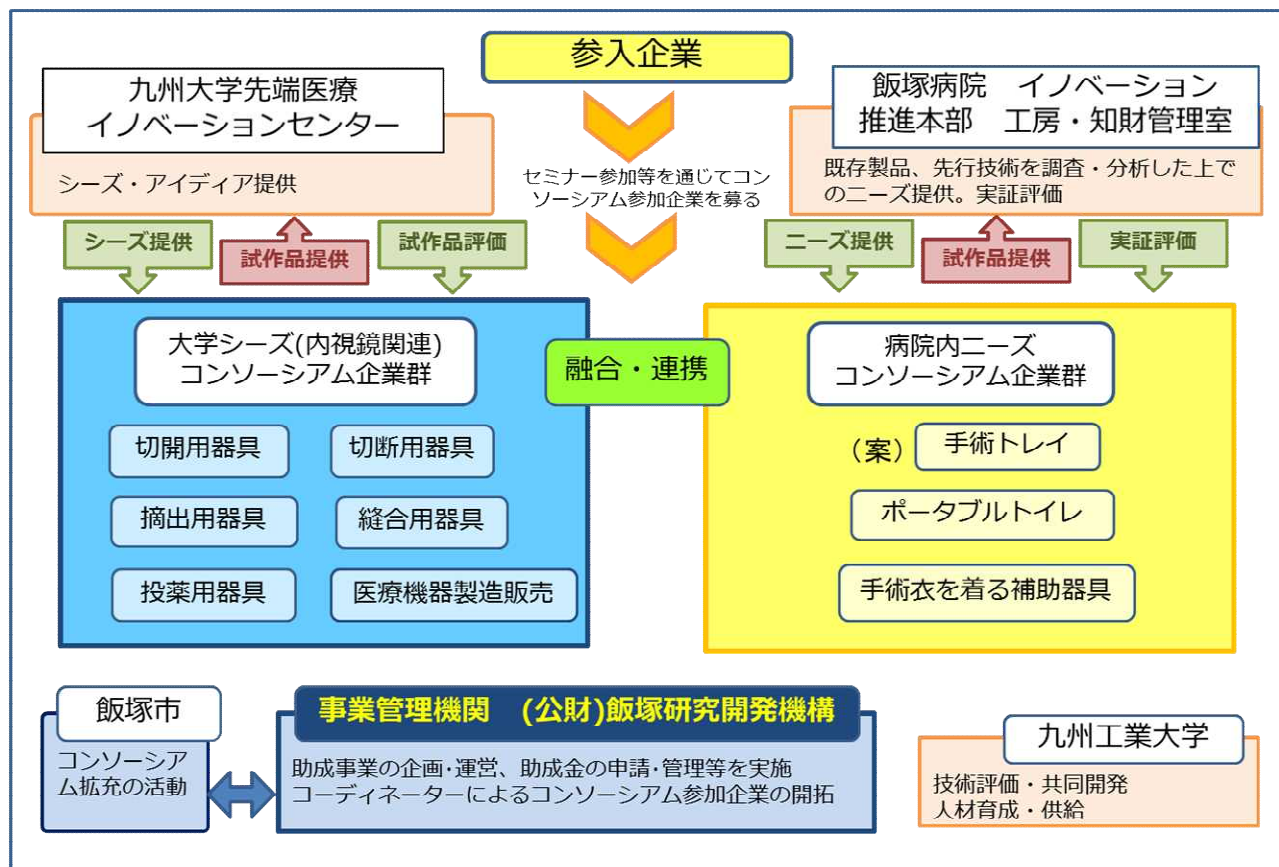
- 技術：大学からのシーズと院内ニーズを基に、実用化を目指した器具(治具)調査と開発活動。
- 製品：シーズ、ニーズを反映させた製品の試作。試作品に対する評価・検証。
- 仕組み：内視鏡関連(大学シーズ)コンソーシアムと、病院内要求(院内ニーズ)コンソーシアムの融合・連携。

この事業実現のためのキーファクター

- ・九州大学先端医療イノベーションセンターのシーズによる現状のコンソーシアム企業試作品の実用化。
- ・飯塚病院の臨床工学技士を中心とした病院内ニーズを基にした器具(治具)調査と、調査結果による器具(治具)を試作するコンソーシアム企業の構築。
- ・上記、大学シーズ器具コンソーシアム企業と病院内ニーズ器具コンソーシアム企業との融合・連携。

コンソーシアム又はグループの構成

事業名：中小企業ものづくり連携体による医療機器具等の開発・販路開拓



コンソーシアムの決意表明

本事業は、大学のシーズや病院内ニーズに基づいて、地域の大学・企業等のものづくり産業群が課題を解決し、新たな医療関連産業の市場を創出することを目標としており、地域産業の活性化を目指し活動します。